

科目名	英文学各論		
曜日・講時	火曜2限		
セメスター	5	単位数	2単位
担当教員	T I N K J A M E S M I C H A E L		
科目ナンバリング	LHM-LIT304J	使用言語	英語
メディア授業科目		主要授業科目	○
授業題目	英詩サーベイ		
授業の目的と概要	このコースでは、英語の詩の歴史的サーベイを幅広く行います。毎週、受講生には事前に短い詩を読んでもらい、講義ではその詩の理解の仕方を説明し、その他の文学的・歴史的背景を紹介することで、受講生の理解と楽しみを深めます。英語における詩の長い歴史を、16世紀から現代までの代表的な詩人や重要なスタイルに圧縮してみる予定です。		
学修の到達目標	このコースでは、英語の詩の歴史的サーベイを幅広く行います。毎週、受講生には事前に短い詩を読んでもらい、講義ではその詩の理解の仕方を説明し、その他の文学的・歴史的背景を紹介することで、受講生の理解と楽しみを深めます。英語における詩の長い歴史を、16世紀から現代までの代表的な詩人や重要なスタイルに圧縮してみる予定です。		
授業内容・方法と進度予定	<p>1: 「はじめに」 抒情詩とは何か？</p> <p>2: ルネサンスの牧歌：クリストファー・マーロウ「愛に熱狂する羊飼い」</p> <p>3: ルネサンス・ソネット ウィリアム・シェイクスピア『ソネット130』：「愛人の瞳は太陽に似ていない」</p> <p>4: 17世紀の形而上学的詩： ジョージ・ハーバート "愛 (III)"</p> <p>5: 王政復古と18世紀の風景： ウィンチェルシー伯爵夫人アン・フィンチ "A Nocturnal Reverie"</p> <p>6: ロマンティック・バラッド： ウィリアム・ワーズワース、"She Dwelt Among the Untrodden Ways"</p> <p>7: ロマンティック・オード ジョン・キーツ "Ode on a Grecian Urn"</p> <p>8: ヴィクトリア朝の劇的独白： ロバート・ブラウニング "My Last Duchess"</p> <p>9: モダニズム T.S.エリオット "前奏曲"</p> <p>10: 戦間期の詩と政治： W.H.オーデン 「W.B.イエイツを偲んで」</p> <p>11: 戦後の告白詩： シルヴィア・プラス "Daddy"</p> <p>12: 現代の環境詩 「エリザベス・ビショップ "The Fish"</p> <p>13: 戦後イギリスのポピュラーな抒情詩 フィリップ・ラーキン "The Whitsun Weddings"</p> <p>14: 20世紀の詩： アリス・オズワルド "Dunt： 干上がった川のための詩"</p> <p>15: 結論と最終テスト</p>		
成績評価方法	講義後のリアクション・コメント 50% 課題文 25% コース最終テスト 25%		
教科書および参考書	このクラスには教科書はありません。詩はオンラインで無料で入手できます。		
授業時間外学修	読解力と聴解力、文学的批評知識、異文化理解力を向上させる。		
実務・実践的授業	授業は英語の詩について英語で行われます。毎週、教材の一部を日本語に翻訳します。		
その他			

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要な学修時間の目安は、「講義・演習」については15～30時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）30～15時間、「実験、実習及び実技」については30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間です。